

一 仏所成就 第一希有 難解之法 唯仏与仏の事

仰せに云はく、仏とは釈尊の御事なり、成就とは法華経なり。第一は爾前の不第一に  
対し、希有は爾前の不希有に對し、難解之法は爾前の不難解に對したり。此の仏と申す  
は、諸法実相なれば十界の衆生を仏とは云ふなり。十界の衆生の語言音聲成就にして  
法華経なり。三世の諸仏の出世の本懐の妙法にして、優曇華の妙文なれば第一希有なり。  
九界の智慧の及ばざれば難解の法なり。成就とは我等衆生の煩惱即菩提・生死即涅槃の  
事なり。権教の意は終に不成仏なれば成就には非ず。迹門には二乗成仏顕はれたり。是  
即ち成就なり。此を仏所成就とは説かれたり。されば唯仏与仏と云へり。唯仏とは釈迦、  
与仏とは多宝なり。多宝涌現せざれば与仏とは云ひ難し。然りと雖も終には出現有るべ  
き故に与仏を多宝と云ふか。所詮日蓮等の類の心は、唯仏は釈尊、与仏は日蓮等の類  
の事なるべし。其の故は唯仏の唯を、重ねて譬喩品には唯我一人と説けり。与仏の二字  
を、重ねて方便品の末に至って若遇余仏と説けり。釈には「深く円理を覺る、之を名  
づけて仏と為す」と釈せり。是即ち与仏と云ふは法華経の行者男女の事なり。唯我一人  
の釈尊に与したてまつる仏なり。此の二仏より合ひて乃能究尽する所の諸法実相の法体  
なり。されば十如是と云ふは十界なり。十界即十如是なり。十如是は即ち法華経の異名  
なり云云。